

平成30年度 学校評価結果

平31年3月
兵庫県立淡路三原高等学校

1 アンケート（4段階評価）の実施

実施日 平成30年12月、**対象** 全生徒、全保護者、全教職員、**結果** 別紙のとおり

2 自己評価

(1) 生徒アンケートより

○ NO. 1（学校満足度）について

評価3，4と回答…77%、昨年比+2%

評価1と回答…6%、昨年比-3%

評価3，4…85%以上、評価1…3%以下を目標に今後も学校改善に取り組む。

○ 授業（NO.3、NO.12）、部活動（NO.6、NO.16）、学校行事（NO.10、NO.15）、規範意識（NO.2、NO.7）について

各取り組みが少しずつではあるが改善できてきたことがうかがえる。

特にNO.12の授業に対する評価向上は嬉しい。

○ NO. 5（将来のことや進路についてよく考える）について

昨年度より最も評価が大きく伸びた項目。今後も、キャリア教育の充実をはかり、将来のことについて自ら考えられる生徒の割合を増やしていきたい。

○ NO. 14（先生に気軽に相談できる雰囲気）、NO. 15（行事やホームルーム活動の充実度）、NO. 17（いじめ対応）について

この3点は、昨年度より評価が大きく伸びた。NO.14に関しては、評価平均2.80以上となるよう、誠実な対応を心がけ、生徒とのさらなる良好な関係づくりを目指す。

▼ NO. 9（学校生活での悩み）、NO. 18（「総合」の授業内容）

悩みを一人で抱えたまま過ごす生徒が少なくなるよう、日ごろの生徒の観察や教育相談体制の充実重点を置き、教職員全体に共通理解していきたい。

「総合」の授業内容については、本年度3学年の内容を柔軟に対応できるようにしたため、3年生の評価は高い。次年度は新規に2学年にも「総合」の時間を設ける。

▼ NO. 4（家庭学習）

受験勉強は「3年生になってから」という傾向が見られる。3年間を通して多様な進路希望に対応できる学力を身に付けさせるための取り組みの充実が課題である。

(2) 保護者アンケートより

○ NO. 1（学校満足度）について

学校満足度は高いが若干下降ぎみ。ただし肯定的評価（評価3，4と回答）した割合は昨年比+1.5%と増加している。

○ 授業、部活動、学校行事、規範意識について

若干下降傾向だが、昨年同様、全体的に評価は高い。

▼ NO. 4（子どもの家庭学習）、NO. 13（進路相談）

特に進路・学習に関して、今以上に相談する機会を求めている傾向が見られる。個に応じた指導や懇談を行う時間が確保できるよう、業務改善を進めるとともに、キャリア教育等をさらに充実させ、生徒自身が自分の進路について考え、切り開くことのできる力を身につけられるような教育を実践していきたい。

▼ NO. 11（学校の情報発信）

義務教育と同程度の細やかな情報伝達が求められている。次年度は、南あわじ市の義務教育学校が加入している「あんしんネット」に加入し、緊急時等の連絡が確実に伝わるようにしていく。

▼ NO. 19（PTA活動）

昨年度よりPTAの役員数を減らし、活動も縮小した。評価はやや低いが、概ね好評であり、若干昨年比より評価は高くなっている。

(3) 教職員の自己評価より

○ 全体について

昨年度より評価を下げた項目が多く、厳しめの評価となった。生徒は落ち着いているものの、現状で満足していない教員の意識がうかがえる。

○ NO. 10（保健・カウンセリング）、NO. 13（授業改善）、NO. 1（情報発信）、NO. 4（進路指導）について

これらが評価の高い4項目。カウンセリング関係は外部機関との連携がうまくいった事例が複数あった。授業改善も生徒・保護者アンケートの結果と比例しているが、情報発信と進路指導においては生徒・保護者との評価の差が感じられる。「あんしんネット」を利用して、どんな内容を発信していくのかを吟味するとともに、保護者も巻き込んだ進路指導の機会が求められているといえる。

▼ NO. 3（学校評議員・PTA）

昨年度の学校評議員会で出た意見をもとに行事等の見直しを行ったが、活動の縮小等の影響か、やや低い評価となった。

▼ NO. 5（キャリア教育）

生徒アンケートでは評価の高かった項目であるが、教職員の評価は大きく評価を下げた。「総合」の授業を通して、「キャリア教育」以上に「探究的な活動」が求められており、それに対応したカリキュラム作りが喫緊の課題であるといえる。

▼ NO. 7（生徒指導）、NO. 8（いじめ対応）

生徒指導に関しては、昨年と比べて特別な指導を行う機会は減少した。現在、全体的に生徒は落ち着いているが、直接生徒に接する機会の多い先生方にとっては、不安な場面に出くわすこともあるのではと捉えている。

▼ NO. 14（校内研修）

業務軽減を意識し、研修の機会を減らしたため評価が下がったと解釈している。喫緊の課題である「探究的な活動」等に焦点を当てた研修を計画的に実施したい。

3 学校関係者評価

【学校評価全体について】

- ・ どういうやり方をしても、必ず反対意見はあるが、生徒のアンケートをあまり気にし過ぎず、先生方がこういう教育をしたいという信念を持って取り組んで欲しい。各々が専門職としての意識を高く持って、工夫して取り組むことが大切である。
- ・ 生徒アンケートで「そう思わない」という回答に対し、具体的にどの点がというところをしっかりと掌握し、共有することが改善につながると考える。
- ・ 先生方のアンケート結果が低いが、もっと自分たちの教育に堂々と胸を張ってよい評価をつけてもよいのではないかと考える。

【学校の魅力づくり等について】

- ・ 島外の私立高校などに進学する生徒も多いが、サイエンスコースに入学して文武両道を目指す生徒もいる。例えばサイエンスコースのさらなる進学への特化、特定の部活動の特化など、さらなる魅力づくりを期待している。
- ・ 定員減も危機ではない。生徒の間に競争原理が働くことを期待している。
- ・ 生徒から面接指導をしていただいたり、様々な相談にのってもらったりという話もよく聞いている。先生方に熱心に関わってもらったことを今度は自分が他の人にしてあげたいと言っていた。わかりやすい授業プラス「絆」や「人間的魅力」のあるこの学校で過ごせたことを保護者として良かったと感じている。
- ・ キャリア教育以上に勉強しなければいけないという雰囲気や環境が重要だと考えている。時間はかかると思うが、過度に親切にし過ぎないように、ある程度距離を置いて自分で考えさせ、自立心を育てる教育をしなければならぬと考える。
- ・ 高校からの大学受験準備では正直遅く、小学校高学年からの学習への動機付けや学習習慣付けが重要である。そういう意味では、淡路三原の生徒はのんびりしていると言えるが、逆に「伸びしろ」がある生徒が多く、可能性を秘めているといえる。研究分野や一般企業においても、将来的に国語力が重要であることが証明されているので、特に高校時代に国語力を伸ばしておくことが重要である。
- ・ 大学受験だけが重要ではないと思っているが、自分の子どもの結果をみると、やはり受験にとりかかるスタートが遅かったと感じている。
- ・ 淡路島は外から見ると大変魅力的な地域である。中学から高校にかけて、島外との対比体験等を通して、島の魅力を理解し、それを伝えられる大人に成長して欲しい。

平成30年度 生徒アンケート 結果(4段階)

評価 4: そう思う 3: まあそう思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない

	No.	質 問 項 目	3年	2年	1年	全体	昨 年 比
自分自身について	1	淡路三原高校に入学してよかったと思っている。	2.95	2.70	3.13	2.93	0.05
	2	規則正しい生活を送っている。	2.88	2.66	2.89	2.81	0.12
	3	毎日の授業に熱心に取り組んでいる。	2.89	2.74	2.94	2.85	0.09
	4	予習・復習等、家庭学習をしっかりと行っている。	2.51	2.22	2.26	2.33	0.12
	5	将来のことや進路についてよく考えている。	3.14	2.82	2.77	2.91	0.23
	6	部活動に熱心に取り組んでいる。	2.80	2.77	3.26	2.94	-
	7	交通ルール、校則、マナーをしっかりと守っている。	3.27	3.29	3.36	3.31	0.03
	8	校内の清掃やボランティア活動に積極的に取り組んでいる。	2.72	2.51	2.88	2.70	0.13
	9	悩みがあれば友達や先生等に相談し、解決するようにしている。	2.63	2.57	2.81	2.67	0.00
	10	学校行事に積極的に参加している。	3.12	2.99	3.14	3.08	0.06
学校について	11	全校集会や学年集会等を通して、今やるべきことなどを確認している。	2.82	2.65	2.77	2.75	0.09
	12	先生は、わかりやすい授業を行い、学習指導を熱心に行っている。	2.84	2.71	2.95	2.84	0.10
	13	面談等を通して、進路に関する相談をする機会を十分につくっている。	2.89	2.51	2.92	2.77	△0.02
	14	悩みなど、先生に気軽に相談できる雰囲気である。	2.61	2.45	2.72	2.60	0.20
	15	行事やホームルーム活動は、楽しく充実している。	3.06	2.81	3.18	3.01	0.15
	16	部活動は、活発で充実している。	2.95	2.73	3.13	2.94	0.01
	17	いじめ問題があれば、すぐに対応してくれる。	2.74	2.70	2.97	2.81	0.15
	18	「総合」の授業は、自分に役立つ内容になっている。	2.76	2.51	2.72	2.67	0.03
	19	学年通信や保健だより等を通して、必要な情報を与えてくれている。	2.87	2.75	3.05	2.89	0.03

平成30年度 保護者アンケート 結果(4段階)

評価 4: そう思う 3: まあそう思う 2: あまりそう思わない 1: そう思わない

	No.	質 問 項 目	3年	2年	1年	全体	昨年比
お子様について	1	淡路三原高校に入学させてよかったと思っている。	3.34	3.25	3.44	3.34	△0.06
	2	規則正しい生活を送っていると思う。	3.07	2.90	2.88	2.94	△0.04
	3	毎日の授業に熱心に取り組んでいると思う。	3.00	2.92	2.98	2.97	△0.05
	4	予習・復習等、家庭学習をしっかりと行っていると思う。	2.62	2.49	2.34	2.47	0.00
	5	将来のことや進路についてよく考えていると思う。	3.11	2.78	2.64	2.83	△0.04
	6	部活動に熱心に取り組んでいると思う。	3.23	2.92	3.32	3.15	-
	7	交通ルール、校則、マナーをしっかりと守っていると思う。	3.48	3.42	3.45	3.45	0.00
	8	校内の清掃やボランティア活動に積極的に取り組んでいると思う。	2.84	2.83	2.87	2.85	0.72
	9	悩みがあれば友達や先生等に相談し、解決するようにしていると思う。	2.87	2.70	2.88	2.81	0.04
	10	学校行事に積極的に参加していると思う。	3.26	3.12	3.30	3.22	△0.02
学校について	11	学年懇談会、学年通信、HP等を通して学校の状況がよく伝わっている。	2.75	2.70	2.71	2.72	△0.10
	12	学習指導を熱心に行っていると思う。	2.88	2.87	2.93	2.90	0.07
	13	面談等を通して、進路に関する相談をする機会が十分にある。	2.78	2.58	2.74	2.70	△0.09
	14	お子様についての悩みなど、先生に気軽に相談できる雰囲気である。	2.69	2.63	2.73	2.68	0.02
	15	学校行事やホームルーム活動は、楽しく充実していると思う。	3.04	2.92	3.09	3.02	△0.04
	16	部活動は、活発で充実していると思う。	3.08	2.94	3.10	3.04	△0.02
	17	いじめ問題があれば、すぐに対応してくれると思う。	2.84	2.75	2.89	2.83	△0.01
	18	地域と連携した活動など十分行っていると思う。	2.74	2.66	2.72	2.71	△0.02
	19	P T A活動は、参加しやすく充実していると思う。	2.74	2.56	2.64	2.64	0.03

H30年度 教職員アンケート 結果(4段階)

評価 4:よくできている 3:できている 2:あまりできていない 1:できていない

	評 価 項 目		評価	昨年比
1	学校のホームページや学年通信、学年懇談会等を通じて、保護者や地域等へ積極的に情報提供している。	情報発信	2.92	△ 0.11
2	地域の諸機関と連携し、さまざまな形で地域貢献や地域と連携した活動を行っている。	地域連携	2.84	△ 0.05
3	学校評議員会やPTA学年懇談会等が出された意見を周知し、教育活動の改善に役立てている。	学校評議員・PTA	2.68	△ 0.05
4	進路に関する適切な情報を生徒・保護者に提供するとともに、進路指導部と各学年が連携し進路指導を行っている。	進路指導	2.92	△ 0.11
5	インターンシップや「総合的な学習の時間」の授業などを通して、キャリア教育の視点に立った取り組みを行っている。	キャリア教育	2.76	△ 0.41
6	習熟度別授業・少人数指導を行い、幅広い学力層に対応した学習指導が行えるカリキュラムを編成している。	カリキュラム	2.81	△ 0.08
7	交通ルール、校則、マナーを守らせ、基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、規範意識を高める指導を行っている。	生徒指導	2.57	△ 0.11
8	いじめ問題に対し、組織的かつ迅速に対応している。	いじめ対応	2.89	△ 0.19
9	学校行事やホームルーム活動の内容充実に向けている。	学校行事・HR活動	2.86	△ 0.08
10	生徒の心身の健康問題の早期発見に努めるとともに、学校保健委員会等、専門家との連携を図っている。	保健・カウンセリング	3.05	△ 0.03
11	防災訓練等により、自他の生命を尊重し、安全な学校生活を送るための意識を高めている。	安全教育	2.81	0.03
12	施設の整備・点検、修理を適切に行っている。	施設管理	2.73	0.05
13	研究授業や公開授業などの実施により授業の改善を図り、学力向上に向けた指導力向上に取り組んでいる。	授業改善	3.03	0.11
14	進路、生徒指導、人権教育等についての校内研修が計画的・効果的に実施できている。	校内研修	2.46	△ 0.24
15	働きやすい職場づくりに向け、業務改善に取り組んでいる。	職場環境	2.73	△ 0.11